

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	下補第6号	工事名	新発田北部処理分区(581他1)管渠工事
施工場所	城北町3丁目	請負金額	149,904,000円
工期	自 平成27年 8月12日 至 平成28年 3月24日		
施工業者	(株)伊藤組	代表者	伊藤隆雄
現場代理人	小柳 聡	主任(監理)技術者	小柳 聡
【工事概要】 施工延長 L=262m 推進工φ650 L=246.0m 2号マンホール工(抗菌) N=4基	一次下請内容	工種	推進工
		"	立坑工
		"	薬液注入工
		業者数	4社
		下請率	
成績評定点	86点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
 施工に先立ち、現場施工条件や制約条件等を把握するのみならず、常に高い問題意識を持ちながら、高精度、高品質な仕上りと、安全な施工環境を確保するため、積極的に変更提案を行い工事を進めた。交通量の多い幹線道路を規制しての作業であったものの、主体となって工程調整を行い、現場作業を進める姿勢は、他の模範となる工事であった。品質・出来形・安全管理のすべてにおいて、優秀な成果で工事を竣工することができた。

【検査員】  
 ①1次、2次下請けとも、全ての契約内容を具体的に承知、把握した上で、現場を進めていたこと。②材料検査簿は、数量確認に留まらず、目視確認の検査項目を6項目追加した調書を作成し、活用していたこと。③推進管(レジン)及び、マンホール(抗菌仕様)の取扱い、保管について、実施記録、実施状況写真を添付していたこと。④推進管の貫通確認を行った際は、特大の鏡が用意されており、すばらしい出来であることを確認できたこと等、施工管理に優れた発想力を持って、真摯に取り組む姿勢が伺えた。また、現場状況の確認や、設計内容の照査を事前に、しっかりと行い、現場に即した工法(2工法)変更、薬注長、立坑径の変更等に、根拠資料をしっかりと示した提案をしようと、纏め上げた技術力も、評価したい。

【説明を補足する写真、図面、略図】



No.582路線は鋼製さや管方式による推進工であったが、現場土質条件や地下水位等を考慮し、高耐力力泥水式推進工へ変更。それにより、発進立坑を縮小することが可能になった。また、既設人孔から推進機を回収するため、小分割可能な推進機(ジャット工法)を採用。



流木による面板閉塞対策として、生木繊維を掻き出す構造へ改造。



的確な管理で高い推進精度を確保。



コンクリート打継部にアクリル系樹脂塗装を行い、管口の漏水対策を実施。



一次処理機の直下にV型防振ゴムを設置。近隣住民からも対策効果を評価された。



イメージアップ看板に下水道接続促進をアピール。また、管渠実物大モデルを掲示。



工事箇所近隣で発生した軽油飛散事故に、現場常備の油脂中和剤で対応。

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	都街島線第1号	工事名	島潟荒町線(東新工区第2区間)整備その5工事	
施工場所	東新町1丁目	請負金額	53,568,000円	
工期	自 平成27年 7月 2日 至 平成28年 3月25日			
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀	
現場代理人	南部慎吾	主任(監理)技術者	南部慎吾	
【工事概要】 施工延長 L=185m 路床安定処理工 A=1,030㎡ U型側溝(各種) L=414m 管渠工(各種) L=35m 集水桝(各種) n=19基 下層路盤工(車・歩) A=2,675㎡ 縁石工(各種) L=574m	一次下請内容	工種	構造物工	
		//	地盤改良工	
		//	舗装工	
		//	歩道工	
		//	消雪パイプ工	
		//	給水管移設工	
		業者数	5社	
下請率	-			
成績評定点		85点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 既存市道や私道において、長期間の通行止めを伴う箇所が多数ある現場条件であったため、付近の空き地を6カ所ほど整備して、沿線住民が不便を感じないように車両回転場を提供し、貢献していた。また、沿線住民への説明資料等に、航空写真を撮影し、活用したことから、う回路の案内等に、わかりやすい資料を提供できた。			
	【検査員】 竣工書類は管理項目別に別冊で分類し、インデックスを利用して、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、丁寧な書類整理で見やすくまとめられており、検査時の質疑にはスムーズな回答と書類提示ができていた。安全管理・工程管理については、良好に行われており、実施内容が明確に整理され、的確に取り組んでいることが伺えた。			
【説明を補足する写真、図面、略図】				
				
空き地に碎石を敷設し、沿線住民の車両回転場として提供した				
				
航空写真を撮影し活用することで、計画平面図より広範囲な地形情報が得られるため、う回路の案内や、工事説明に、判り易い資料として提供できた				

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	下補第5号	工事名	新発田東部処理分区(732他4)管渠工事	
施工場所	五十公野	請負金額	107,092,800円	
工期	自 平成27年 8月 5日 至 平成28年 3月10日			
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀	
現場代理人	加藤 清	主任(監理)技術者	加藤 清	
【工事概要】 施工延長 L=510m 開削工 φ200 L=358.6m 推進工 φ200 L=14.2m 推進工 φ350 L=123.0m 組立マンホール工 10基 小口径マンホール工 5基 公共ます設置工 11箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		"	推進工	
		"	立坑工	
		"	薬液注入工	
		"	マンホール工	
		"	ます工	
		業者数	4社	
成績評定点	85点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 ①施工に先立つ現地照査結果をふまえ、鋼製さや管推進工を、低耐力力圧入二工程推進工に変更提案するなど、創意工夫を行い、工事を進めた。②一般車両、現場内の果樹園をはじめ、水路清掃や、敷砂利補修に至るまで、地域全体への気配り(配慮)は、丁寧に纏められた竣工図書からも窺えた。以上、他工事の模範とした。			
	【検査員】 工事書類は管理項目別にファイルに分類し、インデックスを利用して一覧表や集計表で内容を整理する等、丁寧な書類作りを行い、非常に見やすくまとめられていた。地下埋設物の位置が不確定だったため、監督員と協議を行い、試掘箇所を増やし埋設位置の確認を詳細に行ってから施工したため、事故無く工事を完成させていた。抜け道のない集落での施工であったが、地域住民に十分に情報を提供して、トラブルなく工事を完成させた。			
【説明を補足する写真、図面、略図】				
 <p style="text-align: center; color: red;">734路線竣工</p>		 <p style="text-align: center; color: red;">先導管到達状況</p>		
 <p style="text-align: center; color: red;">マンホール設置状況</p>		 <p style="text-align: center; color: red;">締固め状況</p>		
 <p style="text-align: center; color: red;">水路清掃状況</p>		 <p style="text-align: center; color: red;">敷砂利補修状況</p>		

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	下豊複第4号	工事名	豊浦北部第4処理分区(79-3他8)管渠工事	
施工場所	乙次		80,892,000円	
工期	自 平成27年 7月 2日 至 平成28年 2月21日			
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀	
現場代理人	小池寛行	主任(監理)技術者	小池寛行	
【工事概要】 施工延長 L=154m 推進工φ250 L=152.2m 1号マンホール工 3基 公共ます設置工 6箇所	一次下請内容	工種	推進工	
		"	立坑工	
		"	薬液注入工	
		"	開削工	
		業者数	4社	
		下請率		
	成績評定点	85点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 工事箇所は、小中学校の通学路であり、施工箇所脇の歩道を、学童等の歩行者が多く往来する。このため、推進機器の仮設電源ケーブル等を歩道上に置かず、水路内に配線することで、つまづきや、転倒の防止を図った。また、国道への出入りの際、見通しが悪くなる箇所には、カーブミラーを設置することで、事故防止を図っており、良好な住民対応であった。			
	【検査員】 工事書類は管理項目別にファイルに分類し、インデックスを利用して、一覧表や集計表で内容を整理する等、非常に見やすくまとめられていた。推進工において、想定土質の違いに迅速に対応し、監督員と協議を行って、別工法を提案し、良好な工程管理に努めたことで、工期を大幅に短縮できた点は評価できる。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



大型水路内に配線



歩道上に配線無し



沿線住民の出入りのためカーブミラー設置



## 優良(建設)工事説明書

工事番号	雨補第1号	工事名	新井田川1号雨水幹線整備工事
施工場所	中央町5丁目	請負金額	60,004,800円
工期	自 平成26年 8月 7日 至 平成27年 6月 5日		
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎
現場代理人	加藤友也	主任(監理)技術者	加藤友也
【工事概要】 施工延長 L=132.9m 水路用L型ブロック(B1400×H1200) L=0m 現場打ちコンクリート水路 L=132.9m 宅地乗入橋板 N=6箇所 鋼矢板Ⅱ型L=4.5m N=0枚 軽量鋼矢板Ⅲ型L=4.5m N=799枚	一次下請内容	工種	伐採・植栽工
		"	仮締切工
		"	現場打ち水路工
		"	舗装復旧工
		"	仮設工
		業者数	6社
		下請率	
成績評定点	84点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 当該工事は、市道と泉町鴻沼線を資材の運搬路及び、作業ヤードとして使用し施工を行った。市道の幅員が3.00m～3.40mと狭隘であったため、困難な施工となったが、苦情、事故等もなく、良好な安全管理および施工を行った。		
	【検査員】 施工計画書に沿って、使用材料の「試験成績表」「ミルシート」の添付や、現場測定データによる品質管理を、忠実に実施していた。現場水路の法線(通り)、コンクリート打設面、宅地乗入橋板の法線、高さ他、各種構造物との取り合い等は、鋼矢板設置時当初から、良く管理されていたことが伺え、全体的には良好な仕上がりを見せていた。また、土間コンの復旧や、舗装端部の施工にも、細かい配慮や丁寧さが伺えたこと等も、評価したい。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



コンクリート打設状況



コンクリート打設状況



着手前



竣工

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	地教受第1号	工事名	川東小学校グラウンド整備工事	
施工場所	下羽津	請負金額	53,535,600円	
工期	自 平成27年 6月17日 至 平成28年 1月22日			
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎	
現場代理人	湯田忠幸	主任(監理)技術者	湯田忠幸	
<b>【工事概要】</b> グラウンド整備 クレー舗装工 A=7,090㎡ 植樹帯工 N=1箇所 下層路盤工 A=7,090㎡ 暗渠排水工 L=778m 掘削工 V=995㎡ 残土運搬処理 V=855㎡	一次下請内容	工種	土工	
		"	下層路盤工	
		"	クレー舗装工	
		"	植樹帯設置工	
		業者数	4社	
		下請率		
		成績評定点	84点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<b>【主任監督員】</b> グラウンド舗装工において、平坦性および出来ばえを考慮し、下層路盤工およびクレー舗装工をレーザーレベルで施工管理し、非常に精度の高い出来形であった。また、小学校の児童を対象とした現場見学会を開催することにより、建設工事のイメージアップに貢献したことは、他の模範とするところである。			
	<b>【検査員】</b> 竣工書類は管理項目別に別冊で分類し、一覧表や詳細にインデックスを利用して、非常に見やすく、内容は丁寧にまとめられていた。工事は、監督員とこまめに打合せを行い、工事内容による天候を考慮した工程調整を行った結果、1か月以上も早期に完了した。また、内容の充実した20項目に及ぶ創意工夫を実施したことは、大いに評価できる。			
【説明を補足する写真、図面、略図】				
				
竣工(西側より望む)		竣工(北側より望む)		
				
クレー舗装工(レーザーレベル使用)		現場見学会の開催		

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	特紫複第4号	工事名	紫雲寺下草荷処理分区(312他9)管渠工事
施工場所	草荷他	請負金額	62,586,000円
工期	自 平成27年 7月13日 至 平成28年 2月12日		
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎
現場代理人	井上正隆	主任(監理)技術者	井上正隆
【工事概要】 施工延長 L=769m 推進工 φ150 L=25.3m 開削工 φ150 L=719.9m 1号マンホール工 23基 小口径マンホール工 6基 公共ます設置工 19箇所	一次下請内容	工種	推進工
		〃	薬液注工
		〃	立坑工
		〃	開削工
		〃	舗装切断工
		業者数	5社
成績評定点	84点		

【主任監督員】  
道路幅員の狭い集落内での長期間の工事であり、迂回路の確保や住民周知が課題となったが、近接する下水道工事担当者と綿密な工程調整を実施し、かつ地域住民へ詳細な周知を行うことにより、苦情もなく円滑に施工を終えることが出来た。また、品質確保における様々な工夫が見られたことや、地域の作業へ積極的に参加するなど、工事全般に渡り、優れた施工管理を行った。

表彰対象と評価できる内容(選定理由)  
【検査員】  
施工計画書、特に施工管理においては、測定基準を良く熟知して、現場の施工も見据えた作りを心掛けており、社内的にも良く検討された上で、提出されていた。下請業者から施工確認通知を受け、竣工検査確認通知書兼受領書を発行して、完結させたうえで、竣工検査に臨んでいた。また、施工計画書だけに留まらず、材料確認に検査員確認欄を追記したり、社内中間検査を実施したりして、折に触れ、組織を挙げての取り組みが伺えたことも、評価したい。

【説明を補足する写真、図面、略図】

紫雲寺下草荷処理分区(312他9)管渠工事  
下水道工事の進捗状況のお知らせ

下水道工事に伴う交通規制のお知らせ

1. 開削区間工事  
2. 開削区間工事  
3. 開削区間工事

迂回路案内図

工事進捗状況のお知らせ(月1回)

地域住民への回覧文書(適時)



近接する工事担当者ととの工程調整(月1回)



水締めを併用した埋戻し作業状況



農道補修への参加



地域内の神社境内の清掃への参加

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	下複第13号	工事名	新発田北部処理分区(1209他2)管渠工事
施工場所	富塚町3丁目	請負金額	44,344,800円
工期	自 平成27年10月13日 至 平成28年 3月10日		
施工業者	㈱菊地組	代表者	菊地政博
現場代理人	渋谷雅人	主任(監理)技術者	渋谷雅人
【工事概要】 施工延長 L=271m 推進工φ200 L=122.7m 開削工φ200 L=15m 開削工φ150 L=124m 1号マンホール工 4基 0号マンホール工 2基 小口径マンホール工 4基 公共ます設置工 5箇所	一次下請内容	工種	舗装切断工
		"	推進工
		業者数	4社
		下請率	
		成績評定点	83点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

**【主任監督員】**

①本工事は道路が比較的狭幅でガス、水道が複雑に埋設している路線での施工であったが、それら埋設物の状況を、管理者との立会いや試掘結果を踏まえ、作業員全員で現地確認を行っており、模範的な埋設物への対応が窺えた。②現場事務所や現場内に、下水道施設の標準配置図等を設置し、地域住民に下水道のしくみについて、広く理解を求め、下水道の普及率向上に努めた。③竣工図書についても、見やすくわかりやすく整理されており、模範となるような工事内容であった。

**【検査員】**

仕様書に謳っている「開削工20m毎」や、「推進工10m毎」の解釈について、道理に根拠を置く、深い、しっかりした考え方が伺え、実行されていた。品質管理は、生コンクリートの打設整理表の作成や、現場で実施する試験項目を施工計画書に具体的に謳い、現場で漏れなく適正に実施していた。施工計画書、特に、出来形管理では、測定箇所計画表をこし取り形式で作成して、現場での管理漏れ等を防止する工夫が見られたこと等も、評価したい。

**【説明を補足する写真、図面、略図】**



工事現場はガス・水道が複雑に埋設されており、立会いや試掘結果を現場にフィードバックするとともに、作業員全員で確認を行った。



現場事務所や現場内に、下水道施設の標準配置図等を設置し、地域住民に下水道のしくみについて広く理解を求め、下水道の普及率向上に努めた。

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	都街五第1号	工事名	五十公野公園荒町線橋梁(下部工A1)工事	
施工場所	五十公野	請負金額	62,024,400円	
工期	自 平成27年 6月 5日 至 平成28年 1月26日			
施工業者	(株)伊藤組	代表者	伊藤隆雄	
現場代理人	佐藤寿朗	主任(監理)技術者	佐藤寿朗	
【工事概要】 逆T式橋台 n=1基 既製杭工 n=23本 護岸工 1式 仮設工 1式	一次下請内容	工種	既製杭工	
		"	橋台躯体工	
		"	土留矢板工	
		業者数	3社	
		下請率		
		成績評定点	83点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 既製杭工の工法が中掘工法であり、現場の土質及び水位から、泥土状で排出されることが想定され、残土として運搬処理する為には、含水比を下げる必要があるが、仮置き用の広大なスペースの確保や、天日乾燥に日数を要する問題が生じた。実際には想定した泥土であったことから、ヤード内に小スペースの改良場を設け、セメント系固化剤にて改良を行った結果、翌日には、搬出可能な状態となり、工事の遅延防止に大きく貢献した。			
	【検査員】 工事書類は管理項目別にファイルに分類し、インデックスを利用して、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、大変見やすい書類のまとめ方になっており、検査時に求めた書類もスムーズに提示できていた。施工計画書、施工体制台帳は適時に、確実に、変更および追加資料の提出を行っており、かつ安全管理・工程管理についても、良好に行われていた。			
【説明を補足する写真、図面、略図】				
  				
改良場製作状況		改良場完成 杭打ち機の近くに設置することで、作業効率		中掘残土状況(泥土) 泥土状であり、ダンプトラック運搬不可
		率		
  				
改良前状況		改良材(セメント系固化材) ※六価クロム対応型		改良状況

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	特紫複第3号	工事名	紫雲寺下草荷処理分区(301他12)管渠工事	
施工場所	草荷	請負金額	77,122,800円	
工期	自 平成27年 7月16日 至 平成28年 2月12日			
施工業者	㈱小池組	代表者	小池金一	
現場代理人	森田 直	主任(監理)技術者	森田 直	
【工事概要】 施工延長 L=533m 推進工φ150 L=162.4m 開削工φ150 L=347.1m 1号マンホール工 17基 小口径マンホール工 5基 公共ます設置工 15箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		"	推進工	
		業者数	2社	
		下請率		
		成績評定点	83点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 道路幅員の狭い集落内での工事であったが、既設管の破損防止対策を万全に行うことにより、事故なく施工を完了した。また、近接する下水道工事担当者との綿密な工程調整に基づく迂回路設定や、車両の通行確保の工夫などにより、地域から苦情が出ることもなかった。その他、積極的に地域貢献を行うなど、工事全般を通じて、地域住民に対する配慮が感じられ、書類も丁寧にとめられていた。			
	【検査員】 市道掘削後、転用する埋戻し砂の土質性状試験を任意で実施し、「適正な材料」であることを確認した上で使用するという、「管理」への徹底ぶりが伺えた。また、施工方法のトップに「☆本工事での重点取組事項」を掲げ、しっかりと具体的な対策を再度確認しており、工事に真摯に向き合う姿勢が伺えた。なお、完成検査依頼書、確認通知書、引渡確認書を一連で整理していたこと等も、評価したい。			
【説明を補足する写真、図面、略図】				
				
ピンポール使用や人力掘削による既設管破損防止		立坑の覆工板を分割設置したことによる車両通行止めの解消		
				
近接する工事担当者との工程調整(月1回)		地域の農道補修作業への参加		

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	松整第1号	工事名	松塚漁港西防波堤洗掘防止工事
施工場所	藤塚浜	請負金額	35,553,600円
工期	自 平成26年 9月16日 至 平成27年 6月30日		
施工業者	(株)小池組	代表者	小池金一
現場代理人	高松利栄	主任(監理)技術者	高松利栄
【工事概要】 基礎処理工 1式 被覆ブロック 製作 N=74個 転置 N=132個 洗掘防止 アスファルトマット敷設 N=15枚	一次下請内容	工種	基礎工
		"	被覆工
		"	洗掘防止工
		"	クレーン工事
		業者数	2社
		下請率	
		成績評定点	83点

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
本工事は、船舶を使用しての海上作業であったことから、複数の漁業者との連絡調整が課題とされていたが、漁業者の集会所に工事掲示板を設置し、工事概要・工事区域・周知事項等を掲示することで、複数の漁業者と連絡調整を図り、漁業者とトラブルなく施工していた。水中作業においては、透明度が低く視界が悪い中での作業であったことから、複数の丁張等を用いて施工範囲を明確化し、施工に関する工夫がなされていた。また、重機を使用できない細部の施工においては、自主的に潜水士を用いて施工し、より確実な施工を心がけていた。

【検査員】  
水中作業は、透明度が低く、視界は良くなかったが、「施工確認」を意識した写真撮影を心掛けていた。結果、基礎工(基礎捨石工)では、測点毎に、天端幅出来形測定のためのスタッフを当てていたが、ほぼ水平に施工されていることが確認できたし、アスファルトマット敷設時に50cm、100cmのラインを引いて、重ね幅50cmの残尺を検証していたことも確認できた。また、施工で使用する吊りワイヤーを「長め」にしたり、作業指揮命令系統をしっかりと提示したりしており、安全の管理意識が高いことが伺え、評価したい。

【説明を補足する写真、図面、略図】



工事掲示板の設置

工事掲示板を自主的に設置し、工事概要・工事区域・周知事項を掲示し、漁業者との連絡調整を図っていた



透明度が低く視界が悪い中での作業であったことから、複数の丁張等を用いて施工範囲を明確化し、より確実な施工を心がけていた

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	下複第12号	工事名	新発田北部処理分区(476他7)管渠工事	
施工場所	城北町2丁目	請負金額	86,734,800円	
工期	自 平成27年 9月 4日 至 平成28年 3月10日			
施工業者	丸運建設(株)下越支店	代表者	佐久間 敏夫	
現場代理人	池乗 武	主任(監理)技術者	池乗 武	
【工事概要】 施工延長 L=392m 推進工φ200 L=376.1m 1号マンホール工(組立) N=1基 1号マンホール工(沈設) N=2基 2号マンホール工(組立) N=4基 2号マンホール工(沈設) N=2基 取付管推進工、公共ます設置工 N=4箇所	一次下請内容	工種	推進工	
		"	立坑工	
		"	薬液注入工	
		業者数	3社	
		下請率		
		成績評定点	83点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 工事着手前の現場照査や埋設物調査等で現場施工状況を把握し、的確な改善策を提案・実践することができた。また、関連する下水道工事の支障とならないような工程上の工夫を行い、降雪時期の施工であるにも関わらず、トラブル無く工事を完了することができた。竣工図書も見やすく、分かりやすい工夫と整理がなされており、品質・出来形・安全管理のすべてにおいて、良好な成果が確認できた。			
	【検査員】 沈設構築式立坑兼用マンホール(沈設立坑)の施工は、3次元的な空間管理が要求されるが、平面位置・高さ・傾き・回転ともに高精度な仕上がりを見せ、納まりよく推進管を到達させたこと。また、現場踏査、設計図書の照査、事前調査(土質、地下水位)による検討で、沈設立坑より占用工期を50%も削減できる鋼製ケーシング立坑での施工提案や、土砂崩壊防止と精度確保を考慮して、適用可能な推進方式(泥土圧式→工程方式)への変更を提案していたこと等も、評価したい。			
【説明を補足する写真、図面、略図】				
   <p style="text-align: center;">定期的に地下水位を測定し、地下水圧が20kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認。 地下水圧適用範囲を超えたことから、当該推進条件に適用可能な低耐荷力推進泥土圧方式へ工法変更。</p>				
   <p style="text-align: center;">当市で施工事例の少ない沈設構築式立坑兼用マンホール(沈設立坑)を実施。平面位置・高さ・傾き・回転ともに高精度で設置し、無事、推進到達させた。</p>				
   <p style="text-align: center;">定期的に店社安全パトロールを実施。      日々、始業前に酸素濃度測定を実施。      落下物防止対策として、鋼製メッシュ板を設置。</p>				

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	集羽複第3号	工事名	農集排羽津管路施設その26工事		
施工場所	下羽津	請負金額	46,612,800円		
工期	自 平成27年11月 2日 至 平成28年 3月10日				
施工業者	榊杉原組	代表者	阿部嘉一		
現場代理人	中村一彦	主任(監理)技術者	中村一彦		
【工事概要】 施工延長 L=389.7m 開削工φ150 L=374.7m 開削工φ100 L=126.2m 1号マンホール工 N=12箇所 3号レジンマンホール工 N=1箇所 塩ビ製小型マンホール工 N=8箇所 公共樹設置工 N=11箇所	一次下請内容	工種	立坑工		
		"	管路工		
		業者数	3社		
		下請率			
		成績評定点	83点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事は、農業集落排水管路施設の管渠工事であり、隣接する関連工事との調整とともに、適切な工程管理が求められる現場であった。きめ細かな地元住民への対応や、積極的な工程調整を行う等、円滑な工事進捗に努め、苦情やトラブルなど無く短期間で工事を終えた。また、第3者だけではなく、作業員に対しても適切に安全管理を行い、事故なく施工を完了した。出来形や品質に関しても適正に管理され、竣工書類等も良く整理されており、現場の出来ばえも丁寧な施工で良好であった。				
	【検査員】 工事書類は管理項目別にファイルに分類し、インデックスを利用して、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでいた。本工事は、同地区において他2社と下水道工事を施工しなければならず、他業者との連携を取りながらの工程管理にも、適切に取り組んでいた。また、地域との連絡を密に行い、苦情なく工事を竣工できた。				
【説明を補足する写真、図面、略図】					
					
【竣工】					
					
【管渠布設状況】					
					
【現場密度試験】					
					
【立坑設置状況】					
					
【3号マンホール設置状況】					
					
【待避所設置】					
					
【安全教育状況】					
					
【安全パトロール状況】					
工事車両の通行等により、一般車両の通行に支障をきたさないよう待避所を設置した。事故や苦情もなく無事に工事を完了することができた。					

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	都街五第3号	工事名	五十公野公園荒町線第5工区道路整備工事
施工場所	豊町3丁目	請負金額	129,016,800円
工期	自 平成27年 6月19日 至 平成28年 3月10日		
施工業者	(株)伊藤組	代表者	伊藤隆雄
現場代理人	若月智礼	主任(監理)技術者	若月智礼
【工事概要】 施工延長 L=196.7m ・側溝工 L=384m ・消雪パイプ L=193m ・プレキャストボックス L=30m ・照明柱 N=2基 ・路盤工 A=3,339㎡ ・付帯工事 N=1式	工種	土工・構造物工	
	〃	照明工	
	〃	標識・防護柵工	
	〃	鋼矢板圧入工	
	〃	消雪パイプ工	
	〃	舗装工	
	業者数	8社	
成績評定点	83点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
本工事は市街地区間の道路整備が主な工事であり、地元自治会及び沿線関係者との密な打合せが必要となります。特に、新発田地域振興局が隣接しており、騒音及び振動対策、工程計画の順守、交通規制による渋滞抑制が求められる現場となりました。日々の安全活動を徹底したことにより、無事故に繋がり、施工の工夫により、騒音及び振動が抑えられ、工期短縮することができました。

【検査員】  
竣工書類は管理項目別にファイルに分類し、インデックスを利用して見やすく、丁寧にまとめられていた。工事は、県の占用工事個所や片車線ずつの施工、他工事との工程調整が必要であったが、市の監督員と綿密に打合せを行い、十分な施工管理を実施して、地域から苦情やトラブルもなく、工事を完成させていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



「大割機」を使用したことにより騒音及び振動の抑制に努めました。



鋼矢板建込時に金属音が擦れないように「バイルローラー」を使用しました。



埋設物が近接しており、「ポールアンカー基礎」により、離隔を確保して照明の設置ができ、工期短縮にもなりました。



集水柵を「プレキャスト製品」に変更したことにより、工期短縮に努めました。



埋設物があり作業範囲が限られているため、「残存型枠」を設置することにより型枠の脱型が不要となり、予め型枠を組立ておきクレーンで設置できるので、工期短縮を図ることができました。



埋設物があり作業範囲が限られているため、「残存型枠」を設置することにより型枠の脱型が不要となり、予め型枠を組立ておきクレーンで設置できるので、工期短縮を図ることができました。



新発田地域振興局の乗入れ箇所で大形車両の行き来により縁石の沈下が懸念されるため「基礎コンクリート」打設により沈下防止処置をしました。



目地材を「目地王」に変更したことにより、工期短縮に努めました。



「緊急時連絡表及び事業の目的と効果」を作業常時携帯することで、緊急事態の対応及び市民からの問合せを速やかにできるようにしました。

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	都街西第2号	工事名	西新発田五十公野線(東豊工区)改良その6工事
施工場所	東新町4丁目、五十公野	請負金額	63,363,600円
工期	自 平成27年 6月22日 至 平成28年 2月11日		
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎
現場代理人	横山友一	主任(監理)技術者	横山友一
【工事概要】 施工延長 L=259.6m ・盛土補強工 A=8,078㎡ ・照明柱 N=3基 ・側溝工 L=472m ・路盤工 A=3,221㎡ ・縁石工 L=396m ・標識工 N=1基	一次下請内容	工種	道路改良工
		〃	標識工
		〃	付属施設工
		業者数	3社
		下請率	
		成績評定点	82点

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
本工事は農地区間の道路整備が主な工事であり、工事区間が通行止めによる施工であることから、地元の土地改良区及び農家組合との密な打合せが必要となります。施工時期が稲刈時期に重なっており、一定期間作業ストップをして開放することから、一層の安全管理が求められた現場でありましたが、日々の安全活動を徹底したことにより、無事故に繋がりました。また、施工の工夫により、工事期間の短縮にも努めました。

【検査員】  
大型車両の通行規制、道路土工、後追工事の施工性、施工時期等を総合的に判断して、施工着手時から、施工区域を4つの区域に分け、工程、施工の効率化を見据えた施工サイクル、進捗管理を適正に行った結果、施工人員を104人程節約した形で完了していた。また、施工計画書は、仕事内容を良く熟知した上で作成されており、実効性が伺える点を、評価したい。

【説明を補足する写真、図面、略図】



側溝樹部の基礎コンクリートを陸打設したことで、側溝設置作業がロスなくできました。



施工ロスを考慮した割付図を作成して、各区間施工完了後、敷設枚数確認を行い製品発注を行った結果、製品の余りを抑えられました。



側溝曲線部を吸出し防止材及び目地詰めにより、接合部の漏水が無いように努めました。



「緊急時連絡表」を作業常時携帯することで、緊急事態の対応を速やかにでき、安全性の向上に努めました。



目地材を「目地王」に変更したことにより、施工性が向上し、工期短縮ができました。



現場内の安全掲示板に危険予知活動表を掲示することで、作業員への安全意識を向上させました。

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	特加補第2号	工事名	加治川処理区(3154他8)管渠工事
施工場所	向中条	請負金額	64,486,800円
工期	自 平成27年 7月10日 至 平成28年 2月14日		
施工業者	㈱小池組	代表者	小池金一
現場代理人	森田利幸	主任(監理)技術者	森田利幸
【工事概要】 施工延長 L=472m 開削工φ150 L=442.2m 推進工φ150 L=12.5m(さや管) 1号マンホール工 16基 小口径マンホール工 3基 公共ます設置工 22箇所	一次下請内容	工種	開削工
		//	立坑工
		//	簡易推進工
		業者数	3社
		下請率	
		成績評定点	82点

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

**【主任監督員】**  
管渠布設時に、パイプサポートを用いての浮き上がり防止対策。管渠の脇の埋戻し時に、T字型パイプレーターを使用するなど、管渠布設の仕上がり、良好なものとした。また、施工済みの管渠の沈下量を分析し、沈下予測結果を随時施工にフィードバックし、管渠の出来形管理の精度向上に取り組んでいた。

**【検査員】**  
竣工書類は管理項目別に分類し、一覧表やインデックスを利用して、丁寧にまとめられていた。綿密な現地の事前調査を行い、工法変更の際に、工程等を考慮しつつ、積極的な提案を行ったことは、評価できる。安全管理では、安全作業打合せや安全日誌、安全訓練教育、パトロール等は十分に実施されていた。県道の施工では、指定された、限られた工期内で、工事を無事完了させることができた。

**【説明を補足する写真、図面、略図】**



パイプサポートによる浮き上がり防止対策



T字型パイプレーターによる管渠脇の締固め



管渠の沈下量分析データ



管渠の沈下量分析データ

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	地雨第1号	工事名	月岡地区雨水排水整備工事
施工場所	上中山	請負金額	62,229,600円
工期	自 平成26年11月14日 至 平成27年 4月30日		
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀
現場代理人	小池寛行	主任(監理)技術者	小池寛行
【工事概要】 施工延長 L=140m 第2-2号断面排水路工 L=127m 第1種暗渠工 1式(L=5.8m) 第2種暗渠工 1式(L=6.6m) 第1種排水樋管工 2箇所 1-1種排水樋管 2箇所 1-1種排水樋管 1箇所 第3種排水樋管工 1箇所	一次下請内容	工種	土工
		"	構造物工
		"	型枠工
		"	鉄筋工
		"	防護柵工
		業者数	4社
		下請率	
成績評定点	82点		

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
当該工事はオープンカットで掘削し、現場打ちで大型排水路を構築する工事である。施工時期が冬期間で軟弱地盤の条件のなか、基礎工からコンクリート打設工の工程の中で、様々な工夫を取り入れていた。出来栄は当然であるが、良好な品質確保に努める姿勢が、工期内での打合せや、現場での施工管理から伺えた。

【検査員】  
竣工書類は管理項目別に分類し、またインデックスを利用して、非常に見やすい書類のまとめ方になっており、検査時に求めた書類もスムーズに提示できていた。月に半日実施する安全教育、社内の安全パトロール、新規入場者教育、作業日報等から、安全管理が十分に実施されていることが確認できた。施工管理について、日々の積み重ねを確実にに行い、出来ばえの良い工事につながったことは、大いに評価できる。

【説明を補足する写真、図面、略図】



テンサーマットレス施工時

テンサーマットレス基礎型枠を、木材で制作する手間と時間を短縮する為、H鋼(400\*400)を利用、関連し、基礎均しコンクリート施工時の型枠固定も容易となり両工程での施工幅・厚さの確保のし易さ及び施工時間の短縮を図る。



均しコンクリート施工時



Pコン穴処理

コンフィット(NETIS登録)を使用することにより従来のモルタル練り手作業より作業時間の短縮を図り、且つ冬期間での施工であったことからモルタルの凍結防止を図る。



表面気泡処理

ピカコン(NETIS登録)を使用することでコンクリートの表面に残る多数の気泡を先端部が櫛状の製品を使い、気泡を容易かつ確実にぬきとる。

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	下豊複第3号	工事名	豊浦北部第4処理分区(135他10)管渠工事
施工場所	大伝・乙次	請負金額	88,117,200円
工期	自 平成27年 7月15日 至 平成28年 3月18日		
施工業者	㈱加賀田組下越営業所	代表者	高橋豊博
現場代理人	神尾孝二	主任(監理)技術者	神尾孝二
【工事概要】 施工延長 L=323m 推進工 φ250 L=144.0m 推進工 φ200 L=100.5m 開削工 φ150 L=68.5m 1号マンホール工 4基 小口径マンホール工 3基 公共ます設置工 14箇所	一次下請内容	工種	推進工
		"	立坑工
		"	薬液注入工
		"	開削工
		"	切削工
		"	舗装工
		業者数	6社
下請率	-		
成績評定点		82点	

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

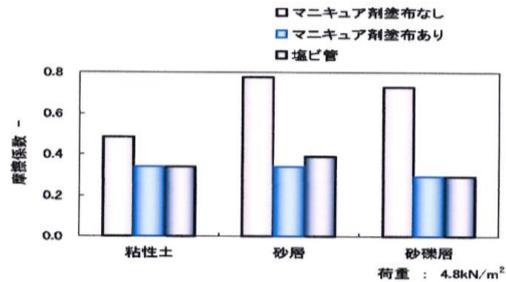
【主任監督員】  
 本工事箇所土質には、不規則な礫の混入がみられたことから、土質変化に伴って、コンクリート推進管の摩擦抵抗が変化し、推進抵抗の急上昇による推進管の損傷等も懸念された。その対策として、コンクリート管マニキュア剤を塗布することで、摩擦抵抗を低くすることができ、結果、推進力の急激な上昇もなく、無事に推進工事を施工できた。

【検査員】  
 施工計画書の社内審査書は、審査チェックリストの添付とともに、施工管理者他、3名の役職者が押印しており、組織的な取り組みが伺えた。社内教育向けとも言える「標準マニュアル版」的な要素を強く感じた。計画変更は7回程行っていたが、都度、改訂理由、改訂内容を記載して、時系列に履歴がわかる様にしており、書類整理にも丁寧な取り組みが見られた。特に、出来形管理総括表は、「ばらつき」が一見できる工夫がされており、すばらしかった。また、推進管と送排泥管を同時に立坑内に降ろす際、管内装備品の落下を防止するために、本管管口を鋼製のメッシュシートにて覆って、安全作業に努めていたこと等も、評価したい。

【説明を補足する写真、図面、略図】

### 【コンクリート管マニキュア】

コンクリート管にマニキュア剤を塗布することで、表面が改質され、塩ビ管並みの滑らかさとなることがわかります。



塗布状況



塗布完了



## 優良(建設)工事説明書

工事番号	下補第2号	工事名	新発田東部処理分区(700他4)管渠工事
施工場所	五十公野	請負金額	52,984,800円
工期	自 平成27年 6月19日 至 平成28年 1月24日		
施工業者	㈱馬場工務店	代表者	馬場 亨
現場代理人	西 拓郎	主任(監理)技術者	西 拓郎
【工事概要】 施工延長 L=599m 開削工 φ150 L=368.2m 開削工 φ200 L=218.3m 1号マンホール工 11基 小口径マンホール工 10基 公共ます設置工 10箇所 試掘工 17箇所	一次下請内容	工種	開削工
		〃	舗装切断工
		〃	インバート工
		業者数	4社
		成績評定点	81点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

**【主任監督員】**

①試掘等現地照査結果をふまえ、いち早く法線変更提案を行い、段取り良く早期着工。また、施工計画に掲げた「降雪前11月末日までの現場作業完了」を有言実行。②関連工事との調整を密に、全工事で、地区全体の積極的な工程管理に努めたほか、週に2、3度一人暮らし宅へ伺い、「声かけ運動」を行うなど、地域住民とのコミュニティを確立。さらに、工事完了のお知らせとあわせて、戸別に下水道の水洗化も周知いただきました。以上、他工事の模範としたい。

**【検査員】**

施工計画書の管理計画では、現場管理を見据え、仕様に忠実に書かれていた。特に、現場で即、使用できる出来形管理箇所表の作成や、現場密度試験の外部委託、日常的な管理実態を伺える資料作りの工夫には、素晴らしいものがあった。また、進捗管理図や週間工程表を作成し、工程管理の精度を高めていた。なお、管渠布設管理表で、日々の実測値を可視化しており、制度の向上、情報の共有化に努めていたこと等も、評価したい。

**【説明を補足する写真、図面、略図】**



703路線竣工



700路線竣工



狭隘道路での開削作業



矢板裏込め状況



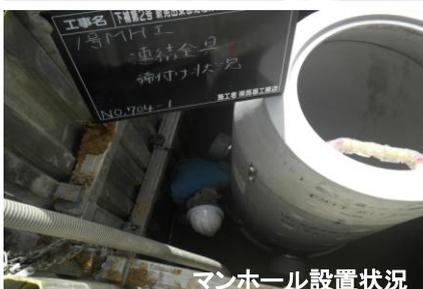
本管布設状況



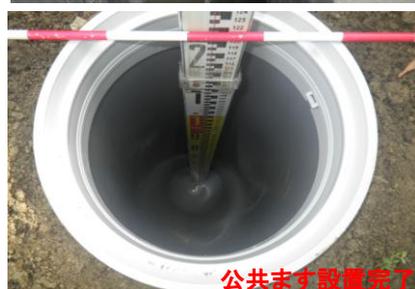
締固め転圧状況



本管布設状況



マンホール設置状況



公共ます設置完了



規制状況



安全パトロール

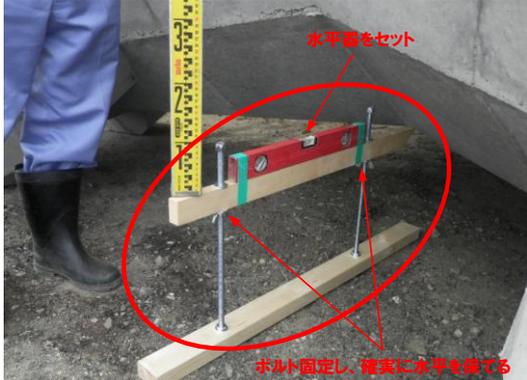


「声かけ運動」

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	雨単第1号	工事名	新井田川1号雨水幹線整備付帯工事	
施工場所	緑町1丁目	請負金額	11,815,200円	
工期	自 平成27年 6月19日 至 平成27年11月10日			
施工業者	㈱中村組	代表者	中村俊一	
現場代理人	若月 誠	主任(監理)技術者	若月 誠	
【工事概要】 施工延長 L=79.0m 大型フリューム L=60.0m 門型カルバート L=19.0m 給水管移設(3軒) N=1式	一次下請内容	工種	土工	
		"	舗装工	
		"	給水管移設工	
		業者数	3社	
		下請率		
		成績評定点	81点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事で施工する水路は、景観に配慮した模様付ベンチフリュームを使用した。排水管流出口や、屈曲部の現場打ち施工部では、製品と同じ模様を書き込むことで、一体化させた。			
	【検査員】 竣工書類は項目別にファイル分けし、インデックスを有効に利用して、ファイル別の一覧表を作成しており、大変見やすく、内容も丁寧にまとめられていた。安全管理及び安全教育は、良好に実施されていることが書類より伺え、特に監督員との、工事打合せ簿は充実していた。また、工程管理を十分に行い、3週間も早く、完成通知書が提出されたことは評価できる。			
【説明を補足する写真、図面、略図】				
書き込み前		書き込み後		
				
		書き込み状況		
				
書き込み前		書き込み後		

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	松整債第1号	工事名	松塚漁港西防波堤改良工事
施工場所	藤塚浜	請負金額	65,026,800円
工期	自 平成27年 3月30日 至 平成27年 8月31日		
施工業者	㈱小池組	代表者	小池金一
現場代理人	宮川雅樹	主任(監理)技術者	宮川雅樹
【工事概要】 基礎工 1式 洗掘防止工 アスファルトマット敷設(7.0×5.5) N=3枚 アスファルトマット敷設(7.0×1.6) N=1枚 アスファルトマット敷設(5.0×5.5) N=3枚 アスファルトマット敷設(5.0×2.1) N=1枚 消波ブロック工 ブロック製作(30t型) N=83個 ブロック据付 N=83個	一次下請内容	工種	洗掘防止工
		"	消波ブロック工
		業者数	1社
		下請率	-
		成績評定点	81点
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 消波ブロックを転置する際、通常のワイヤーロープを使用した場合、ワイヤーロープとブロック本体との擦れによる損傷が懸念されたため、積極的に専用の吊ワイヤーを使用することで、ブロック本体の損傷を防止し、品質向上に努めていた。また、消波ブロックの出来形管理において、通常、出来形管理の必要がない項目についても、自社で管理基準を設け管理するとともに、高さ測定の際に、容易かつ確実に測定を実施するため、水平器を取付けた測定台を自社にて製作して、的確な出来形管理に努めていた。		
	【検査員】 アスファルトマット敷設工は潜水夫を使い、規定の重ね幅で施工を実施し、検測は重ね幅・敷設延長の出来形管理を行っている状況を水中写真で記録しており、確認することができた。安全管理は、安全教育の実施、ハットロール、KY活動、新規入場者教育等、良好に実施されていた。		
【説明を補足する写真、図面、略図】			
			
消波ブロックを転置する際、ブロック本体を損傷させないために専用の吊ワイヤーを使用し、品質向上に努めていた			
当初の測定方法	自社製作した測定台を用いた測定方法		
	⇒		
消波ブロックの高さ測定の際、より正確に測定できるように、水平器を取付けた測定台を自社にて製作し、的確な出来形管理に努めていた			

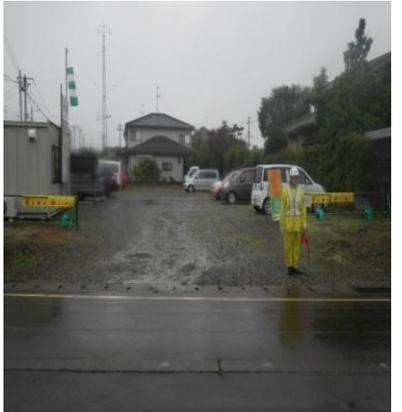
## 優良(建設)工事説明書

工事番号	下单第5号	工事名	新発田北部処理分区(648他2)管渠工事	
施工場所	中曽根町1丁目	請負金額	12,949,200円	
工期	自 平成27年 5月28日 至 平成27年 9月24日			
施工業者	㈱中村組	代表者	中村俊一	
現場代理人	中村祐二	主任(監理)技術者	中村祐二	
【工事概要】 施工延長 L=89m 開削工φ200 L=38m 開削工φ150 L=48m 1号マンホール工 2基 小口径マンホール工 3基 公共ます設置工 10箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		"	付帯工	
		業者数	1社	
		下請率		
		成績評定点	81点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事は家屋が立ち並ぶ閑静な住宅街での工事であったが、見やすい注意喚起の看板設置や、歩行者の安全な通行を確保するなど、近隣住民への配慮がなされ、苦情なく、円滑に工事を完了することが出来た。また、近隣住民が利用できる仮駐車場を設け、専門に警備員を配置し、防犯に努めるなど、良好な成果であった。竣工図書についても、見やすく、わかりやすく整理されており、模範となるような工事内容であった。			
	【検査員】 竣工書類はファイルごとに一覧表を作成し、またインデックスを利用して見やすく、内容も丁寧にまとめられていた。安全ミーティング日報、新規入場者教育も、良好に実施されていることが伺えた。現地調査や地元調整を良好に行い、また工程管理を綿密に行った結果、早期に現場完了できた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



工事現場は閑静な住宅街であり、狭幅なうえに、歩行者も多い。そのため、見やすい案内看板で注意喚起するとともに、歩行者の安全な通路を確保



近隣住民が利用できる仮駐車場を設け、専門に警備員を配置し、防犯に努めた

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	下補第3号	工事名	新発田北部処理分区(1125他9)管渠工事
施工場所	富塚町2丁目	請負金額	88,592,400円
工期	自 平成27年 5月29日 至 平成28年 2月 2日		
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎
現場代理人	小山健二	主任(監理)技術者	小山健二
【工事概要】 施工延長 L=555m 推進工φ200 L=336.8m 開削工φ150 L=47.3m 開削工φ200 L=152.9m 1号マンホール工 N=11基 小口径マンホール工 N=1基 公共ます設置工 N=24箇所 取付管設置工 N=30箇所	一次下請内容	工種	推進工
		"	立坑工
		"	薬液注入工
		"	開削工
		業者数	6社
		下請率	
		成績評定点	81点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】

工事着手前の現場照査や埋設物調査等で、現場施工状況を把握し、的確な改善策を提案・実践することができた。関連する下水道工事3件が競合する制約の多い施工環境下で、下流部を推進工法及び開削工法で施工する本工事は、その進捗によっては他工事に工程上の影響を及ぼしかねない恐れがあったが、当初計画よりも早く工事を進めることができ、他工事請負者からも信頼を得ていた。また、猛暑期の施工であったが、作業員の熱中症対策を講じるなど、作業環境の整備、向上の工夫が伺えた。

【検査員】

工事書類は管理項目別にファイルに分類し、インデックスを利用して、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでいた。本工事は同地区において、他3社と下水道工事を施工しなければならず、本推進工が他業者に大きな影響を及ぼすことから、工程管理については、適切で積極的に取り組み、1ヶ月以上も早く竣工できた点は評価できる。

【説明を補足する写真、図面、略図】



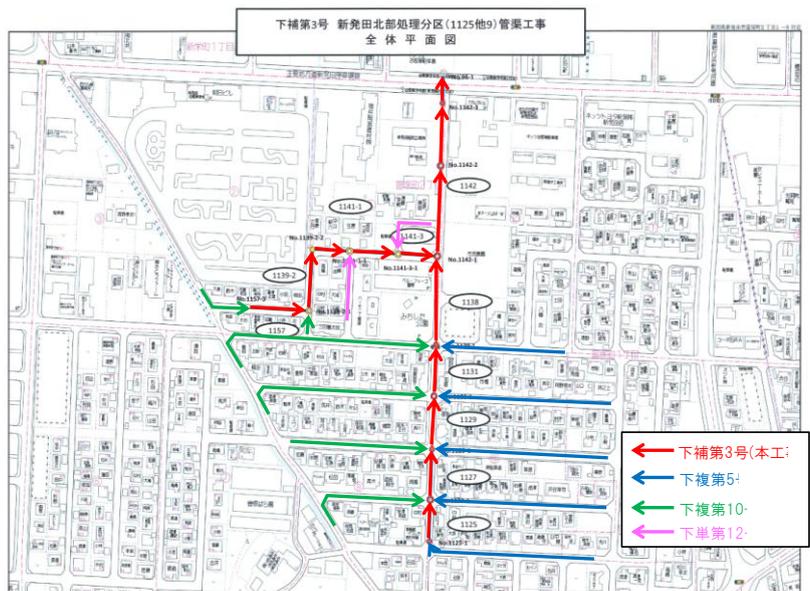
本工事箇所は閑静な住宅街であるにもかかわらず、通過交通の多い道路であったことから、交通規制期間を短縮するため、低耐力力泥土圧推進工法へ変更。渋滞緩和に寄与するだけでなく、近隣住民への負担も最小限にとどめることができた。



猛暑期の工事であったが、熱中症対策を万全に行い、従事作業員からも好評だった。



地元高校生の職場体験を受け入れ、担い手育成に努めた。



同地区内で下水道工事4件が競合する中で、下流側を施工する本工事は、その進捗によっては、他工事に工程上の影響を及ぼす可能性があったが、早期完了できたことで他請負者からも高い評価を受けた。

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	特紫補第1号	工事名	紫雲寺本町処理分区(338他1)管渠工事	
施工場所	真野原外	請負金額	16,351,200円	
工期	自 平成27年 7月 7日 至 平成27年11月28日			
施工業者	㈱加藤組	代表者	加藤正人	
現場代理人	西澤 治	主任(監理)技術者	西澤 治	
【工事概要】 施工延長 L=214m 開削工φ150 L=210.5m 1号マンホール 4基 公共ます設置工 5箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		業者数	2社	
		下請率		
		成績評定点	81点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事は市道部分を車両通行止めにしての開削工事であり、沿線にJAの倉庫があったため、農繁期における搬出入作業との工程調整が必要であったが、適切な協議と工程管理により、問題なく工事を完了させた。また、施工精度を向上させる工夫や、地域住民への配慮にも積極的に取り組むなど、良好な施工管理を行った。			
	【検査員】 竣工書類は管理項目別に別冊とし、一覧表とインデックスを上手く利用して見やすく、内容も丁寧にまとめられていた。安全管理は安全教育、KYミーティング日報等も、良好に実施されていることが伺えた。地元調整を十分に行い、また工程管理を綿密に行って、計画工程通り現場は完了できた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



ジャッキを使用してのマンホール接続箇所微調整



生垣近接箇所を養生しての施工



工事手順などの現場掲示



重機の死角を確認する安全教育

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	都街島第3号	工事名	島潟荒町線(東新工区第2区間)整備その6工事	
施工場所	東新町1丁目	請負金額	21,427,200円	
工期	自 平成27年 9月17日 至 平成28年 3月10日			
施工業者	秀和建设(株)	代表者	犬井秀和	
現場代理人	渡邊陽介	主任(監理)技術者	渡邊陽介	
【工事概要】 施工延長 L=97.6m 側溝(各種) L=156m 管渠工(各種) L=9m 集水柵(各種) n=11基 下層路盤工(車・歩) A=148㎡ 縁石工(各種) L=193m 防護柵工 L=40m	工種		給水管移設工	
	"		照明設備工	
	業者数		2社	
	下請率			
	成績評定点		81点	
	表彰対象と評価できる内容(選定理由)			
<p>【主任監督員】 当該道路新設区間が消雪パイプ未設置であるため、冬期間の路面凍結による一般車両のスリップ事故が懸念されたことから、早朝/トロールを実施し、必要に応じて融雪剤の散布を行い、一般車両の事故防止に貢献した。また、工事に伴い、既存のゴミステーションの移動が必要であったが、関係自治会と相談し、移動予告から移動先の整備・移動を行い、地域に貢献した。</p> <p>【検査員】 工事書類は管理項目別に区切りを持たせてファイルに分類し、インデックスを利用して、さらに一覧表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでいた。本工事は同地区において、複数の業者が混在する中で、主任監督員や地域住民及び関係者、関連業者と連絡や調整を積極的に行い、工程管理を適切に実施していた。</p>				

【説明を補足する写真、図面、略図】

### 【カーブにおいて、車両の横滑りの危険あり】



AM 6時 散布状況



AM 8時 散布状況



移動前



整備状況



移動予告



移動完了

# 優良(建設)工事説明書

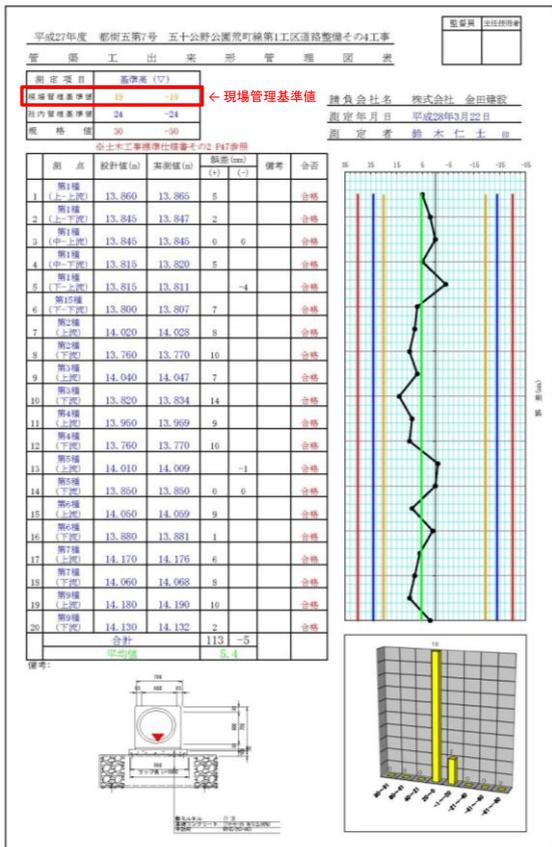
工事番号	都街五第7号	工事名	五十公野公園荒町線第1工区道路整備その4工事
施工場所	五十公野、荒町	請負金額	32,400,000円
工期	自 平成27年10月23日 至 平成28年 3月28日		
施工業者	㈱金田建設	代表者	金田長明
現場代理人	鈴木仁士	主任(監理)技術者	鈴木仁士
【工事概要】 遠心BOXカルバート φ600 L=206m U型側溝(各種) L=82m 集水柵(各種) N=22基 仮設工 1式	一次下請内容	工種	
		業者数	なし
		下請率	
成績評定点	81点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
集水柵工において、比較的大きいサイズ(800×800×1000)であること、設置数が22基あり、冬の製作となること等から、品質と工程への影響が懸念されたが、二次製品を使用し、高品質と均等化を図り、工期短縮に貢献した。また、施工管理において、規格値の64%の現場管理基準値を独自に設け、管理をした結果、規格値の50%以内を確保しており、優れた出来形に貢献した。

【検査員】  
竣工書類は管理項目別に分類し、インデックスを利用するなど、丁寧にまとめられていた。工事は関連工事の関係で、工事日数に制限がある中、市の監督員と綿密に打合せを行い、十分な施工管理・工程調整を実施して、無事に工期内に、トラブルなく、工事を完成させていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



二次製品を使用し、高品質と均等化を図り、工期短縮に貢献した



工場製作により、誤差のない出来型



箱抜きも良好な出来ばえ

- 規格値の64%を、現場管理基準値として独自に設定
- ※現場管理基準値 = 社内管理基準値 × 80%
- ヒストグラム付きの出来型管理図を使用し、容易にバラツキを把握できるように工夫

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	地商受第1号	工事名	新発田市食品工業団地造成1期工事	
施工場所	岡田	請負金額	69,249,600円	
工期	自 平成27年11月24日 至 平成28年 3月30日			
施工業者	(株)伊藤組	代表者	伊藤隆雄	
現場代理人	高橋章二	主任(監理)技術者	高橋章二	
【工事概要】 食品工業団地造成 掘削工 V=4,300m <sup>3</sup> 、路床盛土工 V=3,800m <sup>3</sup> 埋戻工 V=220m <sup>3</sup> 、BOXカルバート工 L=13m 自由勾配側溝工 L=737m、集水柵工 11基 舗装工 下層路盤工 A=3,230m <sup>2</sup> 、仮設工 1式	一次下請内容	工種	排水構造物工	
		"	路床入替工	
		"	舗装工	
		業者数	4社	
		下請率		
		成績評定点	80点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 工程条件が厳しい工事であったが、施工に先立ち、現場条件の整理・分析を着実に実施して、工程管理を行い、より良い施工を工期内に目指そうとする意識が感じられた。また、冬期間の施工における安全管理も適切に行われており、事故なく、工事を完了させた。さらに、創意工夫による工期短縮や、地域住民や周辺環境への配慮も伺えた。			
	【検査員】 工事書類は管理項目別に別冊のファイルに分類し、インデックスを利用して、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、丁寧に書類作成を行い、大変見やすいまとめ方になっていた。検査時の質疑には的確に回答し、求めた書類もスムーズに提示できていた。施工計画書、施工体制台帳は適時に、確実に、変更および追加資料の提出を行っていた。安全管理についても、良好に行われていた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



掘削作業時の高さ確認に、レーザーレベルを道路勾配に合せ設置し、バックホウには受光器を配置して、掘削作業を行った。



水替え用の発電機は、NETIS登録されたオイルフェンス一体型を使用した。



水替え用発電機の防音対策として、防音シートにより囲いを行った



地域貢献として、土側溝の江ざらいを実施した。

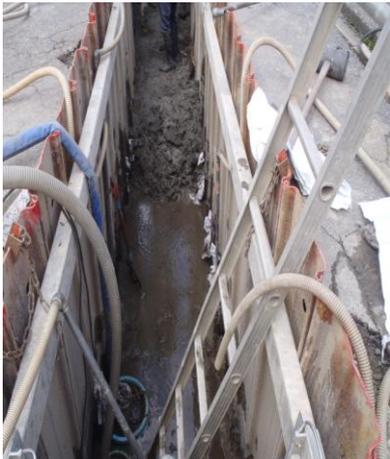
## 優良(建設)工事説明書

工事番号	拡第1号	工事名	大槻地区上水道整備事業に伴う配水管布設(開削)工事	
施工場所	大槻他	請負金額	47,293,200円	
工期	自 平成27年11月 4日 至 平成28年 3月10日			
施工業者	新菫工業(株)	代表者	荒井英之	
現場代理人	居城卓也	主任(監理)技術者	居城卓也	
【工事概要】 ・φ150配水管布設工事 PEPφ150 L=1924.5m ・φ75配水管布設工事 PEPφ75 L=3.8m ・排泥管布設工事 PEPφ75 L=2.3m HIVPφ75 L=14.5m ・舗装復旧工事 A=212㎡	一次下請内容	工種	配水管布設工	
		"	舗装復旧工	
		業者数	3社	
		下請率		
		成績評定点	80点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】	冬季間の施工で工程条件も厳しい中、綿密な施工管理と、弾力的な現場条件への対応によって、高い品質で工事を完了させた。また、施工前の地元説明会における要望を受けて、施工計画を変更するなど、地域住民に配慮した施工を行った。これらは他工事の模範となるべき点であり、評価したい。		
	【検査員】	竣工書類は管理項目別に分類され、インデックス等を利用し整理されており、非常に見やすい書類になっていた。また、地域の自治会や農家組合・土地改良区等の要望などを考慮し施工されたこと。除雪や地域のボランティア活動に、積極的に取り組んでいたことを評価した。また、施工後ではあったが、埋設管破損防止対策として、表示看板や杭の設置等、独自の工夫をしており、今後の維持管理をして行く上で効力を発揮する点も、評価対象とした。		
【説明を補足する写真、図面、略図】				
				
着手前		竣工		
				
降雪時の施工		地元説明会		

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	下補第4号	工事名	新発田北部処理分区(839-S1他4)管渠工事	
施工場所	中曽根町3丁目他	請負金額	18,694,800円	
工期	自 平成27年 6月29日 至 平成27年11月30日			
施工業者	㈱クレド	代表者	菊地貞義	
現場代理人	高沢鉄博	主任(監理)技術者	高沢鉄博	
【工事概要】 施工延長 L=157m 開削工φ150 L=154m 小口径マンホール工 4基 公共ます設置工 10箇所	一次下請内容	工種	舗装切断工	
		業者数	3社	
		下請率		
		成績評定点	80点	
				業者数
		下請率		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p><b>【主任監督員】</b>                  本工事は地下水位が高い現場であったが、自主的に簡易ウェル工法を用い地下水を下げた結果、管布設の仕上がりも良好で、工事の進捗率を向上させた。掲示板を設置し、本日の作業状況を周知するとともに、メッセージボードもあわせて設置し、地域住民の意見を積極的に取り入れていた。これらを行うことにより、地域住民が下水道工事に関心を寄せ、良好な信頼関係が築けており、苦情なく工事が完了した。</p>			
	<p><b>【検査員】</b>                  竣工書類は管理項目別に分類し、またインデックスを利用して、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、大変見やすく書類をまとめており、検査時に説明を求めた書類についても、的確に提示して、説明することができていた。安全管理・工程管理については、良好に行われており、工程の短縮に努めていた。また、創意工夫では、地域住民とのコミュニケーションに、積極的に取り組んでいた。</p>			

【説明を補足する写真、図面、略図】



地下水位が高いことから、自主的に簡易ウェル工法を用い地下水を下げた結果、管布設の仕上がりも良好で、工事の進捗率を向上させた



掲示板を設置し、本日の作業状況を周知するとともに、メッセージボードもあわせて設置し、地域住民の意見を積極的に取り入れた